



# 毎月勤労統計

# 偽装

雇用保険・労災保険の不払いなど

## 2000万人に被害

厚生労働省の「毎月勤労統計調査」のデータ偽装によって、直接的な給付だけで雇用保険など約2000万人分、537億円に上る不払いが発生していた。同省が1月11日に発表した調査結果で前代未聞の事態が明らかになりました。追加給付のため、安倍政権は来年度予算案の修正に追い込まれました。

日本共産党の志位和夫委員長は1月31日の衆院代表質問で、毎月勤労統計の不正によって甚大な被害が生まれ、政府の経済認識や政策判断にも影響が及び、

来年度予算案の審議の前提を揺るがす事態となっている点を強調。厚労省幹部が不正調査の事実を知りながら、報告せず、隠れて「修正」を行ったことを批判し、組織的隠ぺいを否定した特別監察委員会の報告書の結論の撤回と徹底的な真相解明を求めました。

また、勤労統計の不正によって昨年の賃金の伸び率が実態よりもかさ上げされていた点を指摘、10月に予定されている消費税10%増税の中止を求めました。

判明している給付不払いの実態

雇用保険	失業手当、育児休業給付、介護休業給付など	のべ約1900万人
労災保険	傷病、障害、遺族年金など	のべ約27万人
	休業補償など	のべ約45万人
船員保険	遺族年金、障害手当金など	約1万人
事業主向け	雇用調整助成金	のべ約30万件

## 心当たりあればすぐ相談を

厚労省が設置した問い合わせ専用ダイヤル



雇用保険 0120(952)807

労災保険 0120(952)824

船員保険 0120(843)547

0120(830)008

【受付時間】平日 8:30 ~20:00 土日祝 8:30 ~17:15

## 商店街は消費税NO!

志位委員長、吉良参院議員らが十条銀座商店街を訪問

日本共産党の志位和夫委員長、笠井亮政策委員長、吉良よし子参院議員らは5日、買い物客でにぎわう十条銀座商店街を訪れ、消費税10%増税や「増税対策」の影響などをめぐって商店主から意見や実態を聞きました。商店主からは「8%のままだが一番助かる。ポイント還元みたいな複雑なものはやめてほしいね」など、切実な要望が相次いで出されました。

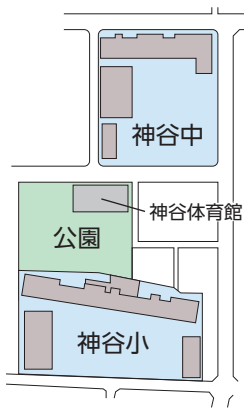
そねはじめ都議、野口まさと区議も同行しました。



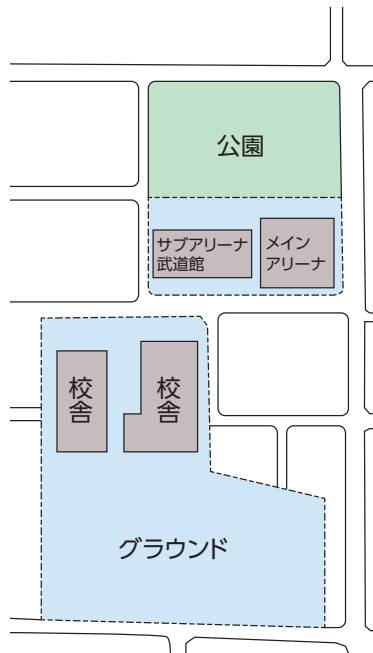
# 児童・生徒数の増加が課題

## 稲田小学校施設の存置・活用を本格的に検討せよ

神谷中サブファミリー  
施設一体型  
小中一貫校計画



現在の配置図



新しい配置図

※新築基本設計検討会資料を基に作成

神谷中サブファミリーの神谷中、神谷小、稲田小を統合し、北区初の施設一体型小中一貫校を新築する計画が進んでいます。2019年度には、神谷公園と神谷体育館の解体工事が始まり、2022年度まで現校舎を残したまま新築工事に。23年度からは、新校舎を開校したのちに、既存校舎解体、新グラウンド・公園の整備をおこなう計画です。

備をおこなう計画です。  
**想定児童・生徒数は計画当初の1.7倍**  
今回の計画では、当初949人とされていた児童・生徒数が、最新の想定で最大1630人を見込む規模にまで膨れ上がっています。  
昨年発表された最新の北区人口推計では、今後15年間、年少人口は増え

続けることされており、本設計検討会の中でも、教室やグラウンド、体育館が足りなくなるのは、という心配の声が聞かれています。  
北区教育委員会は、東京都の人口推計によれば、現計画でも必要な施設は確保できるとしていますが、6年前に新築したばかりの滝野川紅葉中では、生徒数が開校当初から1.5倍になり、少人数学習専用室まで普通教室に転用せざるを得ない事態となっています。  
**施設不足に備え、稲田小は残すべき**  
私は、施設不足という最悪の事態に備え、稲田小を残し、補充教室や第2グラウンドとして活用することを議会で提案しました。教育委員会に、真剣な検討を求めるものです。(のの山けん)

2019 日本共産党志茂・赤羽地域

# 新春のつどい

とき **2月16日**(土) 午後6時30分開会

ところ **赤羽会館4階大ホール**



北区政の現状や問題点についてお話しします。ぜひお越し下さい。

区政報告

区議会議員

**のの山けん**

主催：日本共産党・のの山けん事務所  
北区赤羽南1-17-6 お問合せ先 ☎090-2156-3510(のの山)